

## アドミッションポリシー（入学者受入方針）

農学部では、その教育理念にもとづいた教育目標を達成するために、「知識・理解」、「思考力」、「表現力」、「主体性」、「協働性」、「学問への関心」を有する人材を求めています。このために、一般、総合型、学校推薦型、帰国生徒、社会人、留学生、編入学といった多様な入試を実施し、それぞれの入試においては、客観的で透明性のある方法によって入学者を公平に選抜します。

### 植物生産環境科学科

#### （１）求める学生像

植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識の修得や安全・高品質な農・園芸作物の安定供給、生産環境の改善、環境調和型農業の実現に対して熱意を持って取り組み、植物生産環境科学分野における課題解決能力をもち、学修を通して獲得した国際的視点、知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。

そこで、植物生産環境科学科では次のような人材を求めています。

1. 自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人（学問への関心）
2. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人（知識・理解）
3. 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力）
4. 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人（主体性）
5. 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人（協働性）

#### （２）入学者選抜の基本方針

##### 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

調査書によって、学問への関心、主体性、協働性について評価します。

##### 2) 学校推薦型選抜

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。

面接では学問への関心、知識・理解、思考力、主体性、協働性について評価します。

書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、学問への関心、知識・理解、表現力、主体性、協働性について評価します。

##### 3) 帰国生徒選抜

帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。

##### 4) 社会人選抜

社会人に対し、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。

##### 5) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。

#### （３）入学までに身に付けて欲しいこと

理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

## 森林緑地環境科学科

### (1) 求める学生像

森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、森林緑地環境科学科では次のような人材を求めています。

1. 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人（主体性）
2. 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探求心を有する人（学問への関心）
3. 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人（思考力、表現力）
4. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
5. 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人（協働性）

### (2) 入学者選抜の基本方針

#### 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

#### 2) 学校推薦型選抜

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。

面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。

書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。

#### 3) 総合型選抜

高等学校での学業成績が優秀だけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）、模擬講義等の受講及びレポートの作成及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。

調査書では、知識・理解、主体性、協働性について評価します。

自己推薦書及び活動報告書では、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心について評価します。

模擬講義の受講及びレポート作成では、思考力、表現力、学問への関心について評価します。

個人面接では、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心について評価します。

#### 4) 帰国生徒選抜

帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協働性を評価します。

#### 5) 社会人選抜

社会人に対し、面接と出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心の評価します。

#### 6) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心の評価します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、自ら興味を深め課題を発見する姿勢や、多様な意見を聞きながら多くの人と協力して課題解決をはかる態度も、あわせて身に付けておくことを望みます。

## 応用生物科学科

### (1) 求める学生像

応用生物科学科ではバイオサイエンス分野の先端技術の獲得、食品機能の探求や環境保全に対して熱意をもって取り組み、動植物や微生物がもつ機能とその利用に対する深い関心を持ち、応用生物科学分野における課題解決能力と倫理観を有する、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を応用生物科学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。

そこで、応用生物科学科では次のような人材を求めています。

1. 自然科学に対する強い興味と探求心をもっている人（学問への関心）
2. 自然科学に関係する科目（理科や数学）、英語などの基礎学力を備えている人（知識・理解）
3. 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力）
4. 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人（主体性）
5. 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人（協働性）

### (2) 入学者選抜の基本方針

#### 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理数系科目についての発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

#### 2) 学校推薦型選抜

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。

面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。

書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。

#### 3) 帰国生徒選抜

帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協働性を評価します。

#### 4) 社会人選抜

社会人に対し、面接、出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心を評価します。

#### 5) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心を評価します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

理科(特に化学・生物)、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく学習しておく必要があります。また、主体性、協働性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

## 海洋生物環境学科

### (1) 求める学生像

海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力、環境と食糧生産の諸問題の解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、海洋生物環境学科では次のような人材を求めています。

1. 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人  
(学問への関心)
2. 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人 (主体性)
3. 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人 (思考力, 表現力)
4. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人 (知識・理解)
5. 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人  
(協働性)

### (2) 入学者選抜の基本方針

#### 1) 一般選抜 (前期日程・後期日程)

高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テスト、個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

#### 2) 学校推薦型選抜

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。

面接では、表現力、主体性、学問への関心及び思考力を評価します。

書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、協働性を評価します。

#### 3) 帰国生徒選抜

帰国生徒に対し、面接と小論文、出願書類によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協働性、知識・理解を評価します。

#### 4) 社会人選抜

社会人に対し、面接と出願書類によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力及び協働性、知識・理解を評価します。

#### 5) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、思考力及び協働性を評価します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、海洋環境、海洋生物生産・増殖などの自然科学については、本を読むなどして知識を深めてください。また、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

## 畜産草地科学科

### (1) 求める学生像

畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食糧・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、畜産草地科学科では次のような人材を求めています。

1. 動植物に対する幅広い興味や関心を有する人（学問への関心）
2. 大学での学習の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
3. 実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人（思考力、表現力）
4. 資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人（主体性）
5. 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人（協働性）

### (2) 入学者選抜の基本方針

#### 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

#### 2) 学校推薦型選抜

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。

面接では主体性、協働性、学問への関心について評価します。

書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。

#### 3) 帰国生徒選抜

帰国生徒に対し、面接、小論文、出願書類によって、表現力、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。

#### 4) 社会人選抜

社会人に対し、面接と出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力を評価します。

#### 5) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心の評価します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

## 獣医学科

### (1) 求める学生像

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に着けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

1. 自然科学に対する幅広い興味や関心を有している人（学問への関心）
2. 学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力をもっている人（知識・理解）
3. 自然科学をはじめ、様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力がある人（思考力、表現力）
4. ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる人（主体性）
5. 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人（協働性）

### (2) 入学者選抜の基本方針

#### 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理数系科目についての発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力試験によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。

また、調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

#### 2) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対し、面接、小論文、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心进行评估します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、主体性、協働性など大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

## グローバル人材育成学部教育プログラム

グローバル人材育成学部教育プログラムでは、農学に関する基礎知識、生物資源およびバイオテクノロジー分野に関する専門性と技術、専門分野における高度な英語でのコミュニケーション能力、国内外の諸課題に対応できる国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

### (1) 求める学生像

グローバル人材育成学部教育プログラムでは、農学分野に係る諸問題解決能力の修得に意欲的に取り組み（主体性）、生物資源とバイオテクノロジー分野に対する強い興味や関心（学問への関心）を有し、大学課程において効率よく質の高い学習が可能な論理性と考察力（思考力）を持ち、英語でのコミュニケーション能力（表現力）と大学での学修の基盤となる幅広い知識と基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる（協調性）人材を求めています。

### (2) 入学者選抜の基本方針

外国人留学生に対して、書類選考と面接試験によって多様な能力を総合的に判断します。書類審査では高等学校の成績証明書、推薦書、英語能力試験結果、志望理由書、自己アピール文書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心进行评估します。面接においても知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心进行评估します。

### (3) 入学までに身に付けて欲しいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、勉学において自ら興味を深め課題を発見する姿勢、多様な意見を聞きながら課題解決を図る態度など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。